

2 東京都保育人材・保育所支援センター

東京都保育人材・保育所支援センター（以下センター）は東京都福祉人材センター（以下福祉人材センター）の一部署として平成 21 年 9 月 15 日に開設され、無料職業紹介事業を実施している。東京都より委託運営し、東京都福祉保健局少子社会対策部保育支援課と協力関係を築きながらセンター業務を推進している。センターの人員は保育人材コーディネーター（以下コーディネーター）を中心とした 4 人（正規職員 1 人、非正規職員 3 人）が配置され、開所時間は月曜日～金曜日の 9 時～20 時、土曜日の 9 時～17 時である。

1 センターの取組内容

業務内容は就職支援（相談・マッチング）、保育士就職支援研修と就職相談会、保育士就職セミナーの企画・実施である。研修と相談会は行政との共催、セミナーについては委託先を設け、都内各所で実施している。保育実習は潜在保育士だけではなく、保育職の魅力をアピールすることを目的として、高校生を対象とした職場体験を実施している。就職相談支援、マッチングの業務は福祉人材センターの一組織として

【東京都福祉人材センター 受付】



長年培ってきたノウハウを活かした取組を進めている。

(1) 「福祉のお仕事」の活用

求人・求職登録機能はセンターが開設する以前の平成 9 年から『福祉のお仕事』（福祉人材センターが運営する Web システム）を活用した取組を進めている。募集職種は施設長（所長）・保育士・看護師・栄養士・調理師・事務員と保育所に関わる人材全般である。取り扱う雇用形態は正職員、常勤（フルタイムでありながら雇用契約期間に定めあり）、非常勤、パートタイムであり、保育所での勤務を希望する人材に向けて幅広い選択を提示している。平成 26 年 9 月時点での有効求職登録者は 117 人、登録事業所数は 1,151 事業所（認可・認証・認可外のいずれも公立と私立）に上る。新規登録者の獲得は保育士就職支援セミナーや保育士就職支援研修、就職相談会などで出張登録会を実施している。

(2) マッチングの実施

マッチングは窓口で求職登録をした方を対象にコーディネーター（保育士、幼稚園教諭、産業カウンセラーの有資格者を配置）が対応し、不在の場合は福祉人材センターの相談員が対応する。求人求職情報は『福祉のお仕事』に登録された情報である。窓口に来所した求職者には希望に近

い求人情報を紹介し、必要な場合は勤務時間や雇用形態などを調整する。希望者には紹介状を発行し、求職者から直接事業者に応募する。応募に際して履歴書や職務経歴書の書き方を指導し、事業所との面接についても想定質問や留意点を伝えている。求人数は常時約 150 件ある。平成 25 年度は新規求人情件数：1,090 件、新規求職者数：445 人、平成 26 年度（～9 月）は新規求人情件数：667 件、新規求職者数：200 人であった（すべて保育人材全般）。

(3) 保育士就職支援セミナーの開催

平成 26 年度は都内 9 ヶ所で計 10 回開催する予定である。いずれも 2～3 日の期間を設け、午前 9 時 30 分以降から 17 時までの時間編成になっている。定員は各回 40 人、キャンセル待ちが出るほどの申込者数になる回もある。運営は民間の保育士養成施設や保育事業者へ再委託し、講師は各運営先が派遣している。講座内容は保育士としての専門知識や保護者対応、応急手当など保育現場で役立つプログラム構成になっている。特に「再就職した保育士の体験談」として潜在保育士から復職した保育士の講話は、受講者のロールモデルとなる人物の体験談であり、復帰に至った経緯や、復帰後の心境など、戸惑いや悩みなどを率直に語ることで、説得力のある内容となっている。各講座には託児室を設け、事前申込制で最大 4 人とし、無料で利用できる。参加者からは好評を得ている。平成 23 年度から平成 26 年度 11 月までに計 780 人

が参加した（平成 23 年度：174 人、平成 24 年度：194 人、平成 25 年度：270 人、平成 26 年度～11 月：142 人）。

【保育士就職支援セミナー 平成 26 年度 第 1 回 足立区会場 プログラム】

日 程	時 間	内 容
7 月 14 日 (月)	9:30～10:00	オリエンテーション(事務説明、自己紹介など)
	10:00～12:15	家庭支援・保護者とのコミュニケーション
	13:15～15:30	子供の発達と保育
7 月 15 日 (火)	10:00～12:15	乳幼児を引き付ける遊びの技術
	13:15～15:30	危機管理・事故防止・応急手当
	15:30～16:00	再就職した保育士の体験談
7 月 16 日 (水)	9:30～11:45	子供の食と栄養
	12:45～15:00	保育制度と保育内容
	15:00～15:30	就職活動について
	15:30～16:00	実習打ち合わせ(実習希望者のみ)

(4) 保育士就職支援研修・就職相談会の実施

平成 26 年度はセンター、東京都及び開催地区行政との共催で 9 月から翌年 1 月にかけて都内 6 地域で開催した。会場は大田区、中野区、立川市、足立区、調布市、八王子市内のいずれも主要駅からアクセスのよい立地に位置するホール、会館である。就職支援研修会は 10 時～14 時 30 分の開催（定員 100 人）で保育指針の講義や所長による保育事情の講義、過去に同相談会を通じて再就職した現職保育士の体験談が実施される。就職相談会は 14 時 30 分～16 時に開催（定員なし）、開催地区と近隣地区の保育所がブ

ースを設け、相談ができる。開催地区及び協力地区の決定に際しては、東京都が各自治体に対して事前にアンケート調査を行った結果に基づいている。地域性に特化することで、潜在保育士の掘り起こしとして有効な対策となっている。

【就職相談会の様子 HPより転載】



(5) 保育実習研修

保育実習研修は保育士就職支援セミナーとセットでの申し込み方法となっているため、委託運営となる。定員は各回10人とし、保育士就職支援セミナーの開催地域付近の保育所（認可保育所、認証保育所）で実施され、期間は2～3日間である。時間は実施先によって異なるが、概ね9時～16時または8時15分～16時であり、10時15分～18時の遅番時間帯での指定実習もある。実習内容は1日目：オリエンテーション（保育所内説明、保育所の一日の流れ）、2日目：保育実習（調乳、授乳、おむつ交換、食事介助、遊び、読み聞かせ、保護者とのコミュニケーション）、3日目：保育実習（連絡帳の記入、先輩職員の体験談、清掃、実習報告書の作成等）である。平成23年度から平成26年度11月までの参加者数

は計235人に上る（平成23年度：92人、平成24年度：63人、平成25年度：61人、平成26年度（～11月）：19人）。

(6) 保育事業者セミナーの実施

保育事業者を対象として、現役保育士の離職防止策や就労定着策、多様な就労希望を持つ潜在保育士の活用方法など、円滑な保育施設運営を行うためのノウハウを伝えるセミナーを年2回ほど実施している。平成26年度第1回は東京労働局及び都内ハローワーク、東京都との共催で、保育分野における雇用管理の改善を目的とした採用と定着に関する取組を講話した。潜在保育士の多くが育児・家事との両立を懸念して現場復帰をためらう現状から、事業者が助成金を活用することによって積極的に人材を雇用する意識改革の促進を図る。区部、市部の2会場で実施し、計101

【「魅力ある職場づくりキャンペーン」保育事業者セミナー平成26年度実施プログラム】

月 日	場 所	時間	参加 事業者 数	内 容
10月21日 (火)	(立川会場) 立川公共職 業安定所	13:30 ～ 15:30	31	①東京都保育人材・保育所支援センターの取組み ②東京労働局・ハローワークにおけるマッチング支援の取組み
10月24日 (金)	(新宿会場) 東京新卒応 援ハローワーク 出会いの フロア		70	③人材育成・雇用管理改善に係る助成金について ④仕事と子育ての両立に係る助成金について 個別相談(各助成金の詳細、求人相談等)

事業者が参加した（平成 27 年 2 月にセンター単独による別内容で実施予定）。

2 センター運営の特徴・工夫点

都内各地を会場として開催されるセミナーと就職相談会の運営である。都内広域にわたる不特定多数の潜在保育士に向けて、保育現場への就労を促すきっかけとなっている。さらに委託運営先である民間の専門教育訓練機関が企画・運営することにより、地域によって異なる求職者のニーズを活かした実施内容となっている。

3 センター運営の実績

センター運営事業における保育人材全般の実績（保育所への求人・求職・紹介・採用に限定）は平成 25 年度～平成 26 年度 9 月にかけて新規求人件数：1,757 件（うち保育士：1,447 件）、新規求職者数：645 人（うち保育士 499 人）、紹介件数：109 件、採用者数：158 件であった（紹介件数より就職件数が多いのは、紹介状による採用数に加え求職者が各自で『福祉のお仕事』より応募用紙を出力して応募、採用された数を含むため）。

【東京都保育人材・保育所支援センター実績（）は保育所保育士の求人・求職数】

年 度	新規求人件数	新規求職者数	紹介件数	採用者数
平成 25 年度	1,090 (889)	445 (345)	73	144
平成 26 年度 (～9 月)	667 (558)	200 (154)	36	14
合 計	1,757 (1,447)	645 (499)	109	158

4 センター運営の課題

課題は以下の 4 点が挙げられている。

- ・潜在保育士の掘り起こし（潜在保育士の把握）
- ・センター認知度の向上
- ・関係機関との連携
- ・求職者のニーズに沿った丁寧な（長期的な）相談支援

対策の一例としてセンター認知度の向上を含めた広報周知を行っている。高校生を対象とした職場体験を実施するなど保育士の職業的アピールを進め、幅広い年齢層に向けた取組を進めている。各機関との連携、個人の状況に寄り添った支援とフォローアップによってさらなる支援の充実を図る方針である。

【保育士就職セミナー参加者アンケート】（一部引用、文言修正）

- ① 約30年のブランクの後、パートで保育士の仕事をしたいと考え相談会・セミナーを受講しました。現在の保育をとりまく社会状況や実情を知ることができ、今後仕事をする上で大変勉強になりました。私のような潜在保育士はいるはずです。その力を活用して未来ある子供を育てるためにもこのようなセミナーは重要と考えます。現在私も就活中です。
- ② 子育て中のため、不安な気持ちがあり、仕事と家庭の両立に迷いましたが、おかげさまで実習を通し自信が付き復帰できました。
- ③ 再就職に当たって非常に有用なものであり、実習の機会も得られたことは有難かった。就職活動の際に、ハローワークで持っている情報と共有されていると、仕事探しがよりスムーズにできたかと思うが、支援の仕方（求職者に対する対応など）はハローワークよりも良い印象で相談しやすく、気軽に足を運べた。